

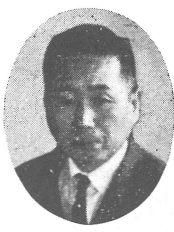
輪之内町報

発行所 輪之内町役場
 大垣市藤江町
 印刷所 大垣紙工業KK

第 1 2 6 号

合併一〇周年を迎えて

町長 菱 田 薫



十年ひと昔と申しま
 すが、ここに輪之内発
 足十周年を迎えるにあ
 たり、町長としての町
 あゆみを想記すること
 は、感慨無量でしむじ
 みと人生の尊さを感じ
 るわたくしであります。

かえりみますれば、昭和二十九年四月一日、合
 併促進法第一号として輪之内町は誕生し、輪中づ
 くりの最も標本的な福東輪中が丸となり、郷土
 開発の第一歩を踏みだしたのであります。治水事
 業に苦難を共にした古い歴史を持つ三町村の合併
 は昭和二十五年の輪之内中学校建設当時よりの懸
 案であり、当然すぎる合併でありました。県下に
 誇る穀倉地帯として、将来を嘱望されたモデルケ
 ースの町でありました。然るに社会は近代科学の
 発展と高度文化の成長に伴い急テンポに躍進し農
 村を尻目にはるか遠く走る有様となり、追いつ
 くにいとまのない今日であります。幸いに町民各
 位のご協力に依り、教育施設、公民館施設、衛生
 施設、水道施設、給食センター、農業センター、
 有線施設等が完備し、道路も着々と拡充されてま
 いりますことは、誠にご同慶に堪えない次第であ

ります。
 いま、春もうららかな、わたくしたちの町を見
 渡しますれば、隣りに東海道新幹線、名神高速道
 路をながめ、大垣インターチェンジ、羽鳥駅を近
 くに見るも揖斐川、長良川にはさまれて、交通上
 の平坦避地の感をおぼしめる広漠たる農地であり
 ます。農業改善事業とたん水防除事業の完成と、
 東西南北に通ずる縦貫道路の促進と、揖斐川の架
 橋こそわたくしたちの必須の問題であり、あたら
 しい息吹きが燃えているのを覚えます。
 時あたかも岐阜国体開催を迎へ、のびゆく健民
 運動推進の秋、感慨をあらたにして十歳の誕生日
 を祝うわたくしたちは、さらに勇気をかき立て町
 民各位と手を握り力いつばい開発し、興隆の明日
 を作り上げたいと存じます。

戸籍便り

御結婚お目出度うございます

- 中郷 妻 朝倉八重子 夫 小林浩人 (三重県)
- 藻池新田 夫 萩巢幸雄 妻 樋口年子 (名古屋)
- 福東 夫 野村昭彦 妻 鈴木君江 (西尾市)
- 下大博新田夫 森島俊之 妻 早川渡子 (南濃町)

謹んでお悔み申し上げます

- 松内 夫 川井広一 妻 戸田里 (名古屋)
- 羽鳥市 夫 川島正義 妻 川瀬幸子 (四郷)
- 大藪 夫 牧野真吉 妻 安藤勢子 (岐阜市)
- 福東 妻 松岡高子 夫 田中等 (上石津)
- 下大博 妻 宮川登志枝 夫 加藤忠則 (奈良県)
- 南波 妻 加納恵美子 夫 浅野光敏 (安八町)
- 下大博 夫 森島文雄 妻 服部悦子 (羽鳥市)
- 大吉新田 妻 内藤勝子 夫 伊藤盛雄 (愛媛県)
- 榑俣 夫 棚橋正博 妻 森田美子 (岐阜市)
- 福東 夫 小林茂 妻 中谷信子 (山口市)
- 里 近藤 兼藏 (65)
- 松内 馬場治兵衛 (79)
- 海松新田 岩津惣次郎 (65)
- 四郷 早川 広吉 (70)
- 里 近藤 愛喜 (80)
- 福東新田 水谷 久七 (73)
- 大藪 伊藤 とく (73)
- 中郷 入山みや子 (0)
- 下大博 中島源兵衛 (77)
- 海松新田 黒田とも (84)
- 大藪 田中ひさよ (81)
- 四郷 伊藤いと (86)
- 南波 箕内 勤吉 (82)

郷 土 人 物 誌

中 島 俊 司

九 佐 々 木 士 侯

俳人応日庵士侯は本名を佐々木惠聞といい、安八郡海松新田明教寺の人、寛政十一年に生れた。士侯は幼少の頃から学を好み、宗余乗の学に詳しかった。その父の後を受けて明教寺第七世の住職となつてから後も、法務の余暇には棚橋榎村・石原士游・西松枝青等と句会を開いて、大いに俳諧の道を楽しんだ。従つて近隣の者でこれを学ぶもの亦多かつた。慶応元年二月十七日病のために歿した。年六十七。今士侯の筆録した仏書・俳書など多く明教寺に伝えられている。

一〇 田 中 三 野

三野は本名を三野三郎と云つた。三野はその号で大藪の人、田中丈右衛門の三男で、嘉永二年三月八日に生れた。俳句を好み西松吟風。名は権兵衛・西松雪江。名は義夫等と交游するところがある。大正十五年一月二十八日歿した。年七十八。

一一 田 中 蛙 骨

蛙骨名は守躬、蛙骨はその号である。明治十五年稲葉郡常盤村城田に生れた。その家代々医を業としていたので、蛙骨亦その家業を継ぐと思つて、十九才の時東京に遊学し医術を学んだ。然し不幸にして病をえたので郷里に帰り、後大藪の田中丈右衛門の養子となつた。そして丈右衛門を襲名した。

蛙骨は村瀬太乙の外孫であつて、天性洒脱、文學を好み、又脱俗した一筆洒を良くしたところは流石に太乙の後裔たるにふさわしい。彼が用ひた

趣味を有したのには明治四十一年の頃からで、その作品の清新にして秀抜きは景下に及ぶものがなかつた。その後独力を以て雑誌「青柳」を発行し、川柳の鼓吹に大いに努め、東西の名流を歴訪し、奇行縦横、その熱心度に過ぎるものがあつたので人呼んで川柳狂とまで云つた。「川柳 江戸砂子」は彼が千金を投じて刊行したもので、同好の士の最も愛読するところである。実に景下川柳界の第一人者であつて、この道に貢献したものの蛙骨の右に出るものはなかつた。

晩年大藪町の史蹟顕彰に力を致し、殊に薩摩義士の事蹟を宣揚した努力は最も大きい。昭和十七年一月一日 年六十一を以て歿した。

一二 田 中 惠 景

惠景は安八郡五反郷新田得浄寺の人。明治元年四月八日に生れた。父は惠順といい、母は栗田氏惠景はその長男であつた。幼少の頃から神童の誉れがあつた惠景は、若年、幼岐阜に出て美濃教校に学んだ。後、小笠原青山・片野実慧に随つて布教の方法を研究した。業成り家に帰つてからは塾を開いて近所の子弟を教育した。二十一、二歳の頃妻を娶つて女子を挙げたが、向学の志に燃え寺務を弟に譲つて東京に出たが、年二十六にして不幸風眼にかかり一夜にして失明した。乃ち家に帰り隠栖して寺務を補けると共に、和歌俳句を楽んで僅かに自らを慰めていた。

失明後の惠景は、頭脳愈々明晰で、一度耳にした事は決して忘れなかつた。従つて村の智慧者として、耕地整理事業を始め、村民家庭の不和などに至るまで、一度惠景が調停に立つと紛議は忽ちにして解決した。従つて村民は毎に惠景に謀つてその裁決を仰いだ。

ある時惠景は甥某の代理として、博徒某の家に رفتつたことがあつた。事件は頗る重大で死氣をは

らんでいた。然し惠景は信ずるところがあつて平然としていたのに対し、博徒は意気大いに拳つていたが、惠景の盲目なるに先ず驚き、然も悠揚迫らぬ胆力に再び驚き、終に談笑の間に事を解決した。誠に惠景の面目を知るに足る一挿話である。

晩年は病床に起臥しつつも、深く仏法に帰依して念仏三昧の日を送つた。昭和二年五月十九日六十歳を以て歿した。

国民健康保険の

改正あらまし

(国 保 係)

昭和四十年度国民健康保険税は、大巾な増額になる。毎日のラジオや新聞等で御承知のように医療費は毎年高くなり、本年一月一日からは更に九・五%の値上りとなつた。随つて昭和三十九年度迄の低額なる保険税では運営が出来なくなつた為、昭和四十年度は大巾な増額もまた止むを得ない状態となりました。国保事業はよく新聞等で行われている所得の還元の一役も果しております。医療費の高くなつていく状況を参考迄に一、二列記してみましよう。

記

(1) 昭和三十八年度の四月から十二月迄と、昭和三十九年度四月から十二月迄の町が負担した医療費を比較すると

昭和三十八年度四月～十二月迄

一一、一五九千円

昭和三十九年度四月～十二月迄

一四、七八〇千円

上昇率 132.4%

(2) 世帯主と家族との受診率の状況は
 (世帯主の七割給付の実施は昭和三十八年十月)
 昭和三十八年度の十月から三月迄の一月月平均の世帯主と家族との受診率の比較は世帯主 100.6% 家族 84.4%

昭和三十九年度の四月より十二月迄の一月月平均の世帯主と家族との受診率の比較は世帯主 91.9% 家族 60.1%

(3) 社会保険の保険料は
 社会保険料は毎月本給の37.5%を受給者が負担している。

(月二万円)の給料生活者は月七五〇円年間九千円の保険料を納入している事になります。昭和三十九年度の輪之内町の保険料は一月平均年間三九〇〇円です)

(4) 一月より実施されている医療費の値上りの影響を初診料、入院料について比較すると、
 県病院(甲表使用)初診料二〇〇円が三九〇円に入院料七四〇円が一〇〇〇円に

一般医療機関(大垣市民病院を含む)初診料、普通病が(感胃・負傷等)六〇円が二四〇円に、特別疾病(胃腸の病氣、流感、神経痛等)一一四円が二九四円に、六歳未満の乳幼時一一四円が二九四円に、時間外は更に高くなります。入院料(食事、寝具付)五四九円が七〇九円に、
 以上のように高くなつてきました。

又、西南濃地区の保険税の平均は、昭和三十九年度一戸平均五〇〇二円(当町は三九〇〇円)昭和四十年度は一戸平均七八九〇円となつております
 以上の実情をよく御理解願ひ、社会福祉国家がその政策の重要なものとして、義務づけておる関係事業に一層の御協力を願ひします。

2、葬祭費の支給額が倍額に
 昭和四十年四月一日から葬祭費の支給額が一併

一〇〇〇円であつたのが二〇〇〇円となります。

四月の納税

税 務 課

固定資産税	第一期分
軽自動車税	全期分
国民健康保険税	第一期分
納期限	四月三十日限り

学校便り

生活目標

輪之内中学校

○新入生を歓迎しよう

○中学生として自分をみつめよう

○計画を立てて実行しよう

新入生のご父兄の皆さん、お子様のご入学心からおよろこび申しあげますと共に、これから三年は身体も心もますます、すこやかに伸びていかれますようお祈り申します。入学の諸君は申すに及ばずご父兄には中学校生活と将来の進路について大きな希望をもつて入学されたことでしょう。貴人も申しておりますように、「初心忘るべからず。一日の初心忘るべからず。……」どうぞ、入学の初心忘る事なく、大いに中学時代を悔いしないように今から学習に運動に体当りをして頑張つて

下さい。たとえ今日一日の成果は極めて小さくても、その成果はやがて三年後の進路が開拓されていきます。ここに本校々訓の「開拓精神」の実現があります。全職員一丸となつて、教育に邁進させていただきますのでよろしくお願ひします。二年、三年生に進級されました、父兄の皆さんには本校教育をたくましく推進させるために、強力な後押しをしていただき、本当にありがとうございます。いよいよ今年度は岐阜国体に直面し学校教育にも大いに成果を挙げたいと存じていますから一層のご理解とご協力をお願いします。

殊に上級生としての二年生は学校生活の中核でもあり、第二学期には三年生からバトンを渡され文字通り輪中のランナーにならねばなりません。最上級の三年生は進路選択から人生の決定へと進む踏切台の学年です。どうぞお子様をしつかり勉強させてやっていたきたいとお願ひを申し上げます。

学年の始めに当りまして本校々訓についてなご一層のご理解ご協力をお願い申します。

校訓 開拓精神

- 信頼される生徒
- 積極的に実践する生徒
- 科学的に生活する生徒
- 真剣に学習する生徒
- 健康な生徒
- 情操豊かで開拓意欲旺盛な生徒

◎七日 入学式と始業式

法律相談のおしらせ

大垣調停協会長牧村つや子女士より

家庭内の紛争で困つておられる人々のために、次のとおり法律相談に応ずることにいたしました

からお気軽にご来場下さい。

と き 四月十日(土)

ところ 午前十時から午後三時まで
大垣市マルイ百貨店四階
秘密厳守

相談員 相談所職員・弁護士・調停委員
岐阜地方裁判所大垣支部内
大垣調停協会

郵便局保険だより

(一) 子供の福祉と簡易保険

最近、都市での共かせぎ、農村での兼業農家の増加などから、子供が放任されがちとなり、一方子供が自由に遊べる安全な遊び場が不足しているため、あらゆる事件と事故が起つており、簡易保険では、子供の福祉を守るため、昭和六年に小児保険を発売して六才未満の子供に保険加入の道を開いたという歴史をもつて、現在、養老保険の十年、十五年、二十年満期には○才から加入が出来子供の福祉を守るため、次のような方法があります。

子供を加入させる場合 その年令が十才未満の時には、契約者は父母、祖父母等で、万一死亡した場合の除保金受取人も前同様、父母、祖父母等であります。

(二) (1) 特別養老保険とは結婚と同時に希望と幸福に満ちた二人の人生が始まるわけですが、それと同時に互いに愛する者への責任を負わねばならぬ。やがて子供が生まれ、育児、教育、就職と費用もかさむ責任も重くなる。さらに自分たちの老後の事も考えなければならぬ。又交通事故などの危険が増えているとき、万一のことがあつて

も、経済的に困らないように、収入の少ない新婚の方でも高い保険料を払わなくても、比較的保険料が安く保障の多い特別養老保険があります。一口の保険料で妻はもちろん、将来生まれる子供まで含まれて保障される家族保険等もありますので詳しい事は郵便局でおたずね下さい。

ストーブは手入れを

してからしましょう

暑さ寒さも彼岸までと申しますので、そろそろストーブの隠居の時期が来ました。

石油ストーブは、芯のまわりにたまつたホコリを、不用のブラシでこすり、燃料筒の小さな穴にたまつたホコリをとりまします。また、石油の流れる部分にたまつているホコリもとりまします。反射鏡のときは、ガラスクリナーで拭いて下さい。このほかのストーブの表面のよごれは中性洗剤の雑布で拭きとりまします。

ガスストーブは、ガスもれの点検を先ずやりまします。石けんをあわだてて、ガス管にぬりつけるとすぐわかります。

火口をブラシでこすつてよごれをとります。電気ストーブも、反射鏡は石油ストーブと同じ要領で拭きまします。またコードの差しこみや接触なども調べてからしましませう。

電気こたつは、ふとんや毛布のホコリかたまりやすいだけに危険ですから、やはりブラシでホコリをはらい、コードや差込みなどをよく調べてからしましませう。こうすればストーブは安全でながらくいたまします使用出来ます。

昭和四十年年度町婦人会幹部役員

次の方が本年度婦人会幹部役員として、又青年団役員として御活動下さいますので何かとよろしく願います。

町 婦 人 会

輪之内町婦人会長 市橋ひさ
副会長 吉田ふさ
同 大橋政子

地 区 婦 人 会

仁木婦人会長 市橋ひさ
副会長 田中あや
同 森島よ子
同 山内信子
同 吉田ふさ
大藪婦人会長 中島つゆ子
副会長 田中静子
同 福束婦人会長 大橋政子
副会長 栗山をのぶ
同 吉川つや子

本年度輪之内町青年団幹部役員

輪之内町青年団長 内藤健太郎
同副団長 古田政広
同 青木みさ子
同 荒川敏夫

青年団活動の大変むつかしい今日、団の再編に際し努力せられた初代団長 中島武彦君の労を多とします。家庭の事情があつたにもかかわらず、枉げて団の為活躍せられた深慮と人望の厚い、前団長 土屋紘雄君、熱と実践力の強い前団長 佐藤勝彦君、克くおつくし下され感謝します。